

むなかた
平成 21 年度 「小中一貫教育全国サミット 2009 in 宗像」 スケジュール

○ 日 時 平成 21 年 8 月 21 日 (金) 9:30~17:00

○ 会 場 宗像ユリックス イベントホール ハーモニーホール 所在地 宗像市久原 400 番地 電話 0940-37-1311

日 程	内 容
9:00	
9:30	受 付
9:50	開会行事 ○ 主催者挨拶 福岡県宗像市教育委員会 教育長 城月 カヨ子 ○ 開催地市長歓迎の言葉 福岡県宗像市長 谷井 博美 ○ 来賓挨拶 文部科学省 大臣官房審議官 前川 喜平
11:30	シンポジウム 『地方発！新しい教育づくりに向けた提言』 ○ コーディネーター 福岡教育大学 教授 小泉 令三 ○ シンポジスト 文部科学省 大臣官房審議官 前川 喜平 (コメンテーター) 登米市立豊里小・中学校 教頭 岩淵 幸市 品川区立戸越小学校 校長 新井 陽子 京都市教育委員会 首席指導主事 島本 由紀 呉市立和庄中学校 校長 竹上 和徳 宗像市大島地区コミュニティ 会長 梶原 實
11:50	児童生徒発表 宗像市立大島小・中学校 児童生徒
13:15	昼 食 (※取組紹介コーナーの設置 幼稚園や高校との連携など自治体や学校の取組コーナーを設置しご覧いただきます)
	分科会 I 施設一体・一貫カリキュラム ○ 実践発表：登米市立豊里小・中学校 教諭 大森 誠志 品川区立大井第一小学校 校長 青木 哲男 奈良市立田原小中学校 教諭 上村 一水 福岡市立照葉小中学校 教頭 安永 宏紀 ○ 指導助言：国立教育政策研究所 初等中等教育研究部長 工藤 文三
	II 施設分離・一貫カリキュラム〔学力向上〕 ○ 実践発表：大分市教育委員会 教育指導課指導係長 佐藤 浩介 品川区立芳水小学校 校長 八重樫 憲一 京都市立京都御池中学校ブロック 宗像市立日の里中、日の里東小、西小学校 ○ 指導助言：福岡教育大学 教授 寺岡 聖豪
	III 施設分離・一貫カリキュラム〔教職員の連携〕 ○ 実践発表：三条市教育委員会 小中一貫教育推進室次長 西山 宗彦 京都市立陶化中学校ブロック 教頭 呉市立郷原小学校 教頭 菊川 博人 宗像市立中央中、東郷小、南郷小学校 ○ 指導助言：福岡教育大学 教授 永江 誠司
	IV 教科新設カリキュラム ○ 実践発表：奈良市教育委員会 指導主事 中澤 静男「郷土なら科」 寝屋川市教育委員会 学校教育部教育監 入江 正「英語教育：国際コミュニケーション科」 南足柄市立南足柄小学校 教諭 山岸 光一「新教科きらり」 宇土市立網田中学校 教諭 富田 孝司「創造表現科」 ○ 指導助言：千葉大学 教授 天笠 茂
	V コミュニティスクール・地域連携 ○ 実践発表：にしみたか学園三鷹市立第二小学校 校長 池田 浩夫 日向市立平岩小中学校 校長 甲斐 昭児 佐賀市立小中一貫校芙蓉校 教頭 大木 貴博 宗像市立大島小学校・中学校 ○ 指導助言：京都ノートルダム女子大学 教授 加藤 明
15:00	移 動
15:15	パネルディスカッション 『新学習指導要領の趣旨を生かした小中一貫教育の意義と教育効果』 ○ パネラー 国立教育政策研究所 初等中等教育研究部長 工藤 文三 千葉大学 教授 天笠 茂 京都ノートルダム女子大学 教授 加藤 明 福岡教育大学 教授 寺尾 慎一 (司会)
16:30	共同宣言
16:50	閉会行事 ○ 次年度開催地教育委員会教育長挨拶
17:00	

平成21年度 小中一貫教育全国サミット in ^{むなかた}宗像 開催要項

1 テーマ

子どもの未来を拓く小中一貫教育を目指して
～地域に根ざした実践の意義と教育効果～

2 主催

小中一貫教育全国連絡協議会 正会員21自治体教育委員会

会 員 名	所在地	会 員 名	所在地
三笠市教育委員会	北海道	むつ市教育委員会	青森県
東通村市教育委員会	青森県	登米市教育委員会	宮城県
八潮市教育委員会	埼玉県	品川区教育委員会	東京都
渋谷区教育委員会	東京都	宇都宮市教育委員会	栃木県
南足柄市教育委員会	神奈川県	三条市教育委員会	新潟県
白川村教育委員会	岐阜県	京都市教育委員会	京都府
堺市教育委員会	大阪府	寝屋川市教育委員会	大阪府
柏原市教育委員会	大阪府	奈良市教育委員会	奈良県
呉市教育委員会	広島県	松江市教育委員会	島根県
宗像市教育委員会	福岡県	日向市教育委員会	宮崎県
薩摩川内市教育委員会	鹿児島県		

3 内容

(1) 日時

平成21年8月21日(金) 9時受付 9時30分開会

(2) 会場

宗像ユリックス

〒811-3437 福岡県宗像市久原400 Tel 0940(37)1311 <http://yurix.munakata.com/>

(3) 内容

□ 開会行事(9:30~9:50)

- ・主催者挨拶 福岡県宗像市教育委員会 教育長 城月カヨ子
- ・歓迎の言葉 福岡県宗像市長 谷井 博美
- ・来賓挨拶 文部科学省 大臣官房審議官 前川 喜平

□ シンポジウム(9:50~11:30)

国及び小中一貫教育推進地域から、6名のシンポジストに登壇していただきます。
教育改革における国の動向をお聞きするとともに、小中一貫教育の実践の成果と課題をもとに、
学校、自治体、地域・保護者の立場から、さらなる推進に向けた提言をいただきます。

『地方発！新しい教育づくりに向けた提言』

- シンポジスト： 文部科学省 大臣官房審議官 前川 喜平 (コメンテーター)
- 登米市立豊里小・中学校 教頭 岩淵 幸一 [宮城県]
- 品川区立戸越小学校 校長 新井 陽子 [東京都]
- 京都市教育委員会 首席指導主事 島本 由紀 [京都府]
- 呉市立和庄中学校 校長 竹上 和徳 [広島県]
- 宗像市大島地区コミュニティ会長 梶原 實 [福岡県]
- コーディネーター：福岡教育大学 教授 小泉 令三

□ 児童生徒発表（11：30～11：50）

『

』

宗像市立大島小・中学校 児童生徒

（平成18.19年度国立教育政策研究所「小中連携教育実践研究事業」研究指定委嘱校）

□ 分科会（13：15～15：00）

それぞれの地域における特色ある小中一貫教育の取り組みを、学校や自治体から発表していただきます。

- ・分科会Ⅰ……小中の学校施設が一体となった中での、学校教育システムの構築及び一貫したカリキュラム作成とその実践
- ・分科会Ⅱ……小中の学校施設が分離した中での、〔学力向上〕を目指した一貫カリキュラム作成とその実践
- ・分科会Ⅲ……小中の学校施設が分離した中での、〔教職員の連携〕を通した一貫カリキュラム作成とその実践
- ・分科会Ⅳ……研究開発指定等を受けての、教科等の新設カリキュラム作成とその実践
- ・分科会Ⅴ……地域コミュニティ等との連携（コミュニティスクール含む）を通した小中一貫教育の実践

分科会参加者からのご質問やご意見をいただいた後、指導助言者から、本実践の価値と充実に向けた今後の方向性をご示唆いただきます。

分科会Ⅰ 施設一体・一貫カリキュラム

○ 発表自治体・学校

登米市立豊里小・中学校	教諭	大森 誠志	〔宮城県〕
品川区立大井第一小学校	校長	青木 哲男	〔東京都〕
奈良市立田原小中学校	教諭	上村 一水	〔奈良県〕
福岡市立照葉小中学校	教頭	安永 宏紀	〔福岡県〕

○ 指導助言者

国立教育政策研究所	初等中等教育研究部長	工藤 文三	
-----------	------------	-------	--

分科会Ⅱ 施設分離・一貫カリキュラム〔学力向上〕

○ 発表自治体・学校

大分市教育委員会	教育指導課指導係	佐藤 浩介	〔大分県〕
品川区芳水小学校	校長	八重樫 憲一	〔東京都〕
京都市立京都御池中学校ブロック			〔京都府〕
宗像市立日の里中・日の里東小・西小学校			〔福岡県〕

○ 指導助言者

福岡教育大学	教授	寺岡 聖豪	
--------	----	-------	--

分科会Ⅲ 施設分離・一貫カリキュラム〔教職員の連携〕

○ 発表自治体・学校

三条市教育委員会	小中一貫教育推進室次長	西山 宗彦	〔新潟県〕
京都市立陶化中学校ブロック			〔京都府〕
呉市郷原小学校	教頭	菊川 博人	〔広島県〕
宗像市立中央中・東郷小・南郷小学校			〔福岡県〕

○ 指導助言者

福岡教育大学	教授	永江 誠司	
--------	----	-------	--

分科会Ⅳ 教科新設カリキュラム

○ 発表自治体・学校

奈良市教育委員会	学校教育課 指導主事	中澤 静男	[奈良県]
寝屋川市教育委員会	学校教育学部教育監	入江 正	[大阪府]
南足柄市立南足柄小学校	教諭	山岸 光一	[神奈川県]
宇土市立網田中学校	教諭	富田 孝司	[熊本県]

○ 指導助言者

千葉大学	教授	天笠 茂	
------	----	------	--

分科会Ⅴ コミュニティスクール・地域連携

○ 発表自治体・学校

にしみたか学園三鷹市立第二小学校校長	校長	池田 浩夫	[東京都]
日向市立平岩小中学校	校長	甲斐 昭児	[宮崎県]
佐賀市立芙蓉小中学校	教頭	大木 貴博	[佐賀県]
宗像市立大島小学校・大島中学校			[福岡県]

○ 指導助言者

京都ノートルダム女子大学	教授	加藤 明	
--------------	----	------	--

□ パネルディスカッション（15：15～16：30）

新学習指導要領の完全実施に向け、小中一貫教育におけるカリキュラムの構築や評価のあり方、趣旨を踏まえた学習指導のあり方等について、4名のパネラーに議論を交わしていただき、今後の小中一貫教育の可能性を探っていきます。

『新学習指導要領の趣旨を生かした小中一貫教育の意義と教育効果』

○ パネラー

国立教育政策研究所 初等中等教育研究部長	工藤 文三
千葉大学	教授 天笠 茂
京都ノートルダム女子大学	教授 加藤 明
福岡教育大学	教授 寺尾 慎一（司会）

□ 共同宣言（16：30～16：50）

□ 閉会行事（16：50～17：00）

・主催者挨拶 次期開催地教育委員会教育長

□ パネル展示

開催日終日、会場のロビー、エントランス等にて、『各自治体、学校の取り組みの紹介』コーナーを設け、パネル展示をします。

※ 各自治体、学校ごとに掲示パネルと長机を用意します。模造紙2枚程度の掲示物と配付資料を準備していただきます。

※ 細案は後日お知らせします。

○ シンポジウム及びパネルディスカッションについて

・シンポジウム

コーディネーター（福岡教育大学：小泉冷三教授）が各シンポジストと直接連絡を取り合い、進行、内容についての打ち合わせを行っていきます。

※各シンポジストには、事前にA4用紙1枚の「実践の概要」を提出していただきます。

・パネルディスカッション

司会者（福岡教育大学：寺尾愼一教授）が各パネラーと直接連絡を取り合い、進行、内容についての打ち合わせを行っていきます。

・最終打合せ

シンポジウム、パネルディスカッションの登壇者については、下記の日程で、最終打合せを実施します。

最終打合せ

期 日：平成21年8月20日（木） 17：00～

場 所：宗像ユリックス 会議室

〒811-3437 福岡県宗像市久原400 TEL 0940(37)1311

※小中一貫教育連絡協議会総会と並行して実施します。

○ 分科会（13：15～15：00）について

・分科会の進め方

分科会 I～V（105分）

- 1 分科会発表者及び指導助言者の紹介（2分）
- 2 分科会の進め方の確認（3分）
- 3 発 表（60分）
 - ・発表者1人につき15分程度×4名
- 4 質疑・応答及び協議（25分）
- 5 指導助言（15分）

※司会、記録は宗像市小中学校校長会、教頭会に依頼します。

※視聴覚機器等については、宗像市教育委員会事務局が準備します。